平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	エイズ対策費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 山本 尚子			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-4 難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」平成18年厚生労働省告示第89号				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「エイズ予防指針」に基づき、エイズの発生の予防及びまん延の防止のための相談・検査体制の維持強化、適切な医療提供体制の確保などのエイズ総合対策の各施策を推進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①医療提供体制確保経費:各地区ごとにブロック会議(連絡会議)の開催 ②検査体制維持強化費:検査技術取得研修(検査機関職員を対象)の開催 ③エイズ対策評価検討経費:エイズ予防指針進捗状況評価事業、関係省庁間連絡会議の開催 ④重点指導対象都道府県等連絡協議会経費:重点都道府県等連絡会議の開催						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	23	20	19	11	9
		補正予算					
		繰越し等					
		計	23	20	19	11	9
		執行額	3	5	8		
	執行率(%)	13.0%	25.0%	42.1%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	事業の内容が、関係省庁や特定の都道府県等との会議の開催やHIV検査技能修得の研修等、数量で評価することができないため、定量的な成果目標を示すことはできない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事業の内容が、関係省庁や特定の都道府県等との会議の開催やHIV検査技能修得の研修等、数量で評価することができないため、定量的な成果目標を示すことはできない。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	() ()
単位当たりコスト	-	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1	1	事業の見直し			
	職員旅費	1	1				
	委員等旅費	1	1				
	庁費	9	6				
計	11	9					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後とも「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」を踏まえて適切に実施する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	「エイズ予防指針」に基づき、エイズ対策の推進に必要な施策であり、引き続き適切な予算措置とすべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)